

学生意見箱へ寄せられた意見

令和6年度

件名	内容	回答
深夜の空き教室の解放について	図書館が閉館した時間以降であっても学内の空き教室を開けて、自習スペースといった学習環境を作してほしい。	図書館閉館時（21:30）以降は教職員がおらず、自習室として空き教室を解放することは運営管理上困難です。
全学講義棟1号館の壁に飾ってある絵について	飾られている理由がわかりません。また、飾られている絵の中には怖い印象を与えるものがあり、取り外して元に戻すことを希望します。	令和4年度から本学教育学部卒業生の絵画作品を学内に展示する「埼玉大学全学舎ギャラリー計画」を始めました。「無味乾燥な現在の学舎環境を、アートの力でポジティブな創造的空間に変えたい。そして、学生や教員の創造的ポテンシャルを開花させ、快活に学びや教育研究に向き合うことができる学舎にしたい」という趣旨によるものです。 全学講義棟1号館に飾られている絵については、今後、関係者と相談のうえ、対応を検討します。 なお、絵画作品は全て寄贈されたものであり、購入費及び維持費は生じていません。
学内ネットワークや施設整備についての要望	学修環境の整備として、頻繁に発生する学生ポータル機能障害や老朽化した施設の改修について検討ください。	学生ポータルの機能障害の改善については、学内の基幹データの集約や学内外とシームレスに連携可能な新たな教務事務システムを構築し、令和6年10月より運用を開始する予定です。 施設整備については、老朽化が進行している施設の劣化度、重要度などを踏まえ、改修の優先度を決定し、計画的に建物改修を行っています。

件名	内容	回答
<p>埼玉大学構内におけるスズメバチについて</p>	<p>毎年の秋、埼玉大学構内にスズメバチが多数飛んでいます。大学構内に巣があると思われます。去年度は巣の近くにカラーコーンを置いていましたが、それだけでは措置として不十分だと思います。スズメバチは危険な生物であるので、迅速な駆除をお願いします。</p>	<p>毎年、夏から秋にかけて多くのスズメバチの巣が作られ、各部署からの通報に基づいて業者を呼び、撤去作業を行っています。まれに巣の位置が不明だったり、外部から飛来することもあります。飛んでいる蜂を追いかけて駆除するのは非常に難しいです。</p> <p>撤去作業までの間は、コーンを置いて蜂の巣の存在を示すことがほとんどで、その後すぐに蜂の巣駆除業者が来て作業を行います。業者は、蜂が昼間活動し夕方に巣に戻る特性を利用して、学生さんたちがほとんど気づかないうちに撤去作業を進めています。荒天時には作業ができないため、休日に撤去することもあります。</p> <p>なお、去年は、図書館前の林付近で樹液を吸いに来たスズメバチに対処するため、粘着性の罟を設置し、コーンを置いて木に規制線テープを巻き、長期間通行禁止としました。</p>
<p>イルミネーションの設置について</p>	<p>国立大学は、政教分離原則に則り、宗教に対して中立の立場をとる必要があります。にもかかわらず、本学ではクリスマスに合わせて、特定の宗教を想起させるイルミネーションを設置しています。こうした状況は、特定の宗教を優遇していると捉えられるため、政教分離原則に違反する余地があります。本学におかれましては、イルミネーション設置の可否を再考していただきたいと思います。ご検討よろしく申し上げます。</p>	<p>イルミネーションの設置について、地域連携の観点から行っているものであり、特定の宗教を推進する意図はありません。</p> <p>埼玉大イルミネーションは、地域住民や学生が楽しめるよう、季節感を演出するための文化的な活動として実施しています。</p>